

# がん看護論

単位数（時間数）：1 単位（15 時間） 必修/選択：選択 履修年次：3 年次 開講時期：前期

科目責任者（職位・氏名）：准教授・石井真紀子

科目担当者（職位・氏名）：

---

対応DP：基礎力をもった社会人 ケア・スピリット 看護専門職者としての基本姿勢  
看護の基礎的・専門的知識と技術 社会への関心と地域貢献 生涯学習・自己研鑽

科目記号：98

## ■ 授業概要

がんの疫学、予防、診断・治療の基本的知識と最新の動向を教授する。それをもとに診断・治療の段階や、がんの進行による臨床経過の特徴を全人的苦痛（身体的・心理的・社会的・実存的）の視点で解説する。これらをふまえて対象が主体的に療養を継続し、その人らしく生活するために必要な看護の基礎的能力を養う。

## ■ 到達目標

1. がん看護の特徴と学ぶ意義を説明できる。
2. がんサバイバーシップの考え方やサバイバーを支えるソーシャルサポートの必要性、その内容について説明できる。
3. AYA 世代のがん患者の特徴と必要な看護や資源について説明できる。
4. 造血幹細胞移植を受ける患者の特徴と必要な看護について説明できる。
5. がん患者と家族が生きる過程から必要な資源や看護のあり方について説明できる。

## ■ 教育内容

看護の統合と実践

## ■ キーワード

がん看護、がんサバイバーシップ、AYA 世代、造血幹細胞移植、QOL

## ■ 授業計画（授業項目、授業内容・授業方法、担当教員）

回	授業項目	授業内容・授業方法	担当
1	授業ガイダンス 1. がん看護とは	<b>【講義】</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>「がん看護」を学ぶとは</li> <li>がん患者が抱える苦痛（全人的苦痛）</li> <li>がんの臨床経過と治療</li> <li>がん看護における看護師の役割</li> <li>科学的根拠に基づくがん看護</li> </ul>	石井
2	2. がんサバイバーシップとソーシャルサポート ①	<b>【講義】</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>がんサバイバーシップとは</li> <li>がんサバイバーの特徴</li> </ul> <b>【グループワーク】</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>がんサバイバー・がん患者を支えるソーシャルサポート</li> </ul>	石井
3	3. がんサバイバーシップとソーシャルサポート ②	<b>【グループ成果の発表】</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>がんサバイバー・がん患者を支えるソーシャルサポート</li> </ul> まとめ	石井
4	4. AYA 世代のがん患者の特徴と看護 ①	<b>【講義】</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>AYA 世代とは</li> <li>AYA 世代のがん患者の特徴</li> </ul> <b>【グループワーク】</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>AYA 世代のがん患者の特徴から考える必要な看護や資源について</li> </ul>	石井
5	5. AYA 世代のがん患者の特徴と看護 ②	<b>【グループ成果の発表】</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>AYA 世代のがん患者の特徴から考える必要な看護や資源について</li> </ul> まとめ	石井
6	6. 造血幹細胞移植を受ける患者の看護	<b>【講義】</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>造血幹細胞移植とは</li> <li>治療・処置の方法</li> <li>造血幹細胞移植を受ける患者の看護</li> </ul>	ゲスト スピー カー

7	7. がん患者とその家族の理解と看護 ①	<b>【視聴】</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>◆ 動画「幸運なひと」</li> </ul>	石井
8	8. がん患者とその家族の理解と看護 ②  授業のまとめ	<b>【グループワーク・成果発表】</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>◆ 動画「幸運なひと」から考えた、がんになった人とその家族の理解と必要な資源、看護のあり方について</li> </ul> まとめ レポート課題の提示	石井

## ■ 履修条件

なし

## ■ 成績評価方法

レポート（100%）で評価する。

## ■ 課題（試験やレポート等）に対するフィードバック方法

- ・成績（レポート評価点）の概要を Google Classroom にアップロード（掲示）する。
- ・希望者に対して成績（レポート評価点）のフィードバックを行う。希望者は事前にアポイントメントを取ったうえで石井の研究室（研究室6）を訪ねること。

## ■ 教科書

- ・『デジタル ナーシング・グラフィカ』メディカ出版  
26 巻 成人看護学 ② 健康危機状況／セルフケアの再獲得  
28 巻 成人看護学 ④ 周術期看護  
30 巻 成人看護学 ⑥ 緩和ケア

## ■ 参考書・参考資料等

- ・鈴木久美他編（2021）『がん看護』南江堂
- ・小松浩子他著（2022）『系統看護学講座－別巻 がん看護学 第3版』医学書院
- ・厚生労働省：第4期がん対策推進計画  
<https://www.mhlw.go.jp/content/10901000/001091843.pdf>（2024年1月24日 検索）

## ■ 準備学修に必要な時間及び具体的な学修内容

- ・授業1コマにつき、事前・事後学修としてそれぞれ90分程度必要とする。
- ・授業前後の学習は授業にて指示する。

## ■ 担当教員からのメッセージ

慢性期看護論 17～20 回目の内容を前提知識として授業を行いますので、復習しておいてください。この科目ではグループワークを3回予定しています。欠席せずに、またグループワークには積極的に参加し学びを深めてください。

## ■ 研究室、連絡先、オフィスアワー

研究室 6、ishii★iwate-uhms.ac.jp、事前にメールで連絡をお願いします。（緊急時を除く）

（※メールの際は★を@にしてください）

## ■ 担当教員の実務経験の有無

有

## ■ 担当教員の実務経験

看護師

## ■ 教員以外で指導に関わる実務経験者の有無

有

## ■ 教員以外で指導に関わる実務経験者

がん看護専門看護師としての専門的な臨床経験を有する

## ■ 実務経験を活かした教育内容

病院でのがん看護の実務経験を活かし、がん看護に関する専門的で実践的な講義・演習を行っています。